

大人の世界史 —キリスト教と貧民救済の歴史—

[講座紹介] ヨーロッパに旅行すると、大道芸人やホームレスなど喜捨を求める人々に遭遇します。しかも、一般の人々は積極的に喜捨をしているようにも見えます。ヨーロッパではなぜ人々が積極的に喜捨をするのか、キリスト教の歴史にさかのぼって考えます。

講師

吉田 正広 (放送大学愛媛学習センター所長/愛媛大学名誉教授)

時間

木曜日 13:30~15:30

場所

文化センター
別館3階視聴覚教室

定員

60名

受講料

1,200円

回	日 程	テーマ (内 容)
1	6月5日	「聖書における金持ちと貧民の記述」 金持ちと貧民の関係について、イエスは弟子たちにどのように説いたのだろうか。「ラザロと金持ち」など、代表的な話を紹介する。
2	6月19日	「修道院の成立・発展と救貧活動」 修道院において修道士たちは貧民とどのように向き合ったのだろうか。ホスピタルと呼ばれた巡礼者を保護する施設についても紹介する。
3	7月3日	「中世都市の発展と市民による救貧活動」 12世紀頃の西ヨーロッパで商業活動が盛んになると、都市の市民は積極的に救貧活動を展開する。それはなぜか考えてみたい。
4	7月17日	「宗教改革における救貧思想の転換」 ルターの宗教改革は免罪符に対する批判から始まったが、善行による人間の死後の救済にも疑問が呈されることになる。救貧思想の転換について考える。